

令和8年度 第1回学校運営協議会 議事録

1 日時

令和8年6月6日（土）午前10時から正午まで

2 会場

静岡県立稲取高等学校 応接室

3 内容

(1) 学校祭見学

(2) 学校長挨拶

(3) 報告

ア 令和7年度 学校関係者評価実施報告書

イ 令和8年度 学校経営計画書

ウ 学校の現状及び生徒の様子

エ 賀茂地区県立高等学校におけるキャンパス制に関する基本構想

【主な意見】

- ・キャンパス制について、他地域の生徒も入りたいと思うような特色がないと、少子化の中で維持が難しいのではないかと危惧している。
- ・地元に戻ってこない若者が多いことが課題である。単なる施設の建設だけでなく、若者が地域で働けるようなシステムの構築を県に求めている。
- ・東伊豆町は都会に比べてこども1人に対する大人の人数が多く、支援が手厚いことが強みである。この温かい環境をアピールできればと思う。
- ・交通の便については、昔に比べれば都会との距離感は縮まっている。子育てのしやすさをより積極的に発信していく必要がある。

4 協議

本校における学校運営の改善及び生徒の健全育成について

【主な意見】

- ・「総合的な探究の時間」をより柔軟に再編し、稲取高校らしさを出していきたい。地域住民や移住者との交流を通じて生徒が土地の魅力を知る機会を増やし、助成金の獲得などにも挑戦して、地域への橋渡し役を担っていきたい。
- ・教職員数が減る中で、地域の力を活用することは不可欠である。学校からの情報発信をより強力に行っていただきたい。
- ・少人数だからこそできる、一人ひとりの良さを伸ばす教育をお願いしたい。地元との強い繋がりが、生徒のやりがいや自己肯定感に繋がるはずである。
- ・役場での職業体験などを通じ、学んでいることが社会にどう繋がっているのかを考える力を養って欲しい。
- ・こどもたちが自分の学校や地域を誇りに思えることが大切である。部活動の地域移行など課題は多いが、保護者も巻き込みながら、本校が大切にしている価値観を発信し続けて欲しい。